

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

例会会報

第 2352 回

平成 19 年 2 月 27 日 (火) 晴 (本年度 第 31 回)

会長報告

丸山 隆志

- 2/22 (木)：第 2 ブロック会長幹事会
 2/24 (土)：次年度地区役員研修セミナー
 3/1 (木)：新世代会議
 3/2 (金)：世界こども音楽交流フェスティバル
 鶴岡市実行委員会
 3/3 (土)：第 2800 地区職業奉仕セミナー

* * *

スペシャルオリンピックス (SO)

：知的発達障害者（身体障害者ではありません）の大会

スペシャルオリンピックスは、IOC（国際オリンピック連盟）が認める 3 つ目の世界大会につながる大会で、国内でも 2 年に一回開催され、2008 年 3 月に開催される山形大会は国内 4 回目になります。世界大会の予選大会でもあり、知的障害者が社会と交わり、スポーツを通して自己の成長をめざす一環として開催されるものです。全国からアスリートが 1,000 人以上、ボランティア 3,000 人以上、選手家族が同じくらい参加する大規模な大会です。資金のお願いは、各位が金額を決めてご提供頂く資金協力ではなく、インターネットで下記の URL をクリップして頂くと大会スポンサーが一日一人一回 1 円の寄付をして下さいます。一日一回この URL を通して協力の姿勢を表して頂ければ宜しいのです。社会奉仕の一環として、ご協力をお願いいたします。

※ 1 日 1 クリップ

http://www.j-energy.co.jp/cp/society/click_tp.phpあきえいしょう
安藝栄祥氏のプロフィール

米沢市大町 4-3-9 (宗) 妙圓寺 代表役員住職
 昭和 27 年 1 月 18 日生
 昭和 49 年 3 月：立正大学仏教学部卒業
 昭和 49 年 4 月：宗教法人妙圓寺 (日蓮宗) 代表役員住職就任
 平成 11 月 5 月：日蓮宗 山形県社会教化事業協会 会長

平成 15 年 6 月：日蓮宗 全国社会教化事業協会連
 合会副会長

ロータリー歴

平成 7 年 8 月：米沢中央ロータリークラブ入会

1999 ～ 2000 年度：米沢中央 RC 幹事 (藤川 PG 年度)

2006 ～ 2007 年度：第 2800 地区職業奉仕委員長

2007 ～ 2008 年度：地区副幹事

家族：妻・母の 3 人家族

「職業奉仕」とは

ゲストスピーチ

地区職業奉仕委員長
米沢中央 RC

安藝栄祥君



今日は非常にあがっておりますが、私なりの職業奉仕についてお話をさせていただきます。職業奉仕というのはやったことがない分野で、去年から一年勉強しました。どれ程勉強したか、今日はロータリー学園の鶴岡校の藤川教授が査定するから出て来いということのような気分で参っております。

「職業」というのは、自分の生計をたてるための生業、まさしく自分の利己です。ところが、「奉仕」というと利他のことになりますので、「職業奉仕」とは何だか日本語の訳し方だと相矛盾する言葉のような気がしておりました。ただし、仕事というのは、他人様の要求に応じて生産したり、作ったり、売ったりします。ですから経済そのものが「利他」とも考えられるんだと思います。片方では仕事とは提供するもので、ニーズに応じていくというサービスの部類だと思うのです。最初職業奉仕って、なんでこんな訳し方をしたのかな、と思いましたが、だんだん突き詰めていくうち「なるほど、すばらしい訳し方をしたな」と思いました。それは「いいものを作らなければ物は売れない」。ということは、いい物を作っていかなきゃいけないし、社会のニーズ、人々のニーズがどこにあるのかをきちんと捉えないと作っても売れない訳です。また、その会社がどこをターゲットにするかによっても考え方が違ってくるでしょう。物を作るとき、今年作ったものが来年

も売れるかというとその保障はありません。いつまでも同じ物を作っても衰退していくので、次の時代の要求に応えられるものを作っていかなければなりません。新しい物を作ってもそのクオリティーを高めていかなければなりません。

最近の不二家のように、一度社会からの信用を失うと製品は売れません。これは雪印も三菱自動車などもそうでした。全部人命に関わってくる問題でした。当然自分の体に危機が及ぶものにはNOというわけですから、厳しく反論するのは当たり前で、やはり信用第一でやっていかなければなりません。良い物を作るということは、結局自分を磨くということが一番大事なことに繋がっていきます。「仕事の完成よりも仕事をする人の完成」という言葉があります。人格も仕事を通じて完成されていく、仕事の現場が一番の精神修練の場だと思うのです。果たして倫理とどうつながるのかといいますと、私はこんな風に考えます。「利他」というのは、人と社会のためにということになると思います。他人の事をまず思いやることから考えないと物作りは始まらないのではないかと思います。日本の経済実業界の礎と言われている渋沢さんという方は論語を元にして人生倫理の基準となしたと言われています。「利によりて行えば恨み多し」利益ばかり考えて行動すると人に恨まれるよ。「己の欲せざるところを人に施すことなかれ」自分がされて嫌なことは人にするなということです。これはまさしく人への思いやりを大事にしろということだと思います。それから米沢クラブの九里バスターガバナーが書にもしたためておられるのですが、「得は個ならず、必ず隣あり」。この解釈は色々ありますが、先生の解釈だと、「自分の得というのは、自分ひとりのものでなく、自分のまわりに沢山の人がいてその人たちのおかげで自分の得はあるのだ、必ず隣人や近い協力者や支援者がいるということを忘れてならない」ということです。渋沢さんは「多くの人々の利益を志す商売を行うべきである」と言っています。自分一人だけ儲かるのではなく、多くの人々の利益を志す必要がある。多くの人と手を取り合って公益のために努力しなければならない。ポールハリスよりも前に言っているのです。自分の生業とする自分のための仕事、それはあくまでも他の人の要求を満たすための仕事につながっていくわけですから、自分の心も律していかなければならないということもわかってくるのではないかと思います。そう考えると利己が利他とつながっていると考えられるのです。

よく勘違いされることで、自分の職業を通じて奉

仕をすること、例えば建設会社の社長が町内のゴミステーションが壊れたからきれいに作ってくれた、道路がへこんだところを直してくれた、というのは実は社会奉仕です。自分の仕事をいかした社会奉仕です。なぜなら、そこにはお金の流通がない、職業奉仕というのは、お金の流通する人との間の奉仕です。また、お医者さんが、海外の貧しい村で無料で診察してあげたというのは、国際奉仕です。

職業奉仕で忘れてならないのは、「自分の職業生活のなかでとりまく対外的な人とかかわりの中が職業奉仕である」ということ。お金の流通の関わる相手方とのサービスをいかに考えるか、これが職業奉仕だといわれております。お金の流通するやりとりには「心」が大事です。相手の人間、命を大事にする気持ちが関わってくるということを申し上げたら、利己が利口になっていくんだと私は感じました。当然ながら労働環境衛生も考えなきゃいけないしコストを考えれば、いかに安くていい物を仕入れるか、自分の考えをしっかりと自分のクオリティーを高めていかなければいけないと思うのです。

職業奉仕というのは突き詰めていくと、「人を大事にする、人間を大事にする、命を大事にする」ことから始まっていくのかなと考えました。

ご清聴有難うございました。

委員会報告

出席委員会

委員長 迎田 健

本日の出席		前々回の出席	
会 員 数	46 人	出 席 率	67.44%
出 席 数	29 人	修正出席数	32 人
出 席 率	67.44%	確定出席率	74.42%

●メイクアップされた方

阿部 純次君 藤川 享胤君 佐藤 孝子君
富田喜美子君

●ビジター

恩田 次郎君（鶴岡南 RC）

●ゲスト

安藝 栄祥君（米沢中央 RC）



藤川享胤君 安藝地区職業奉仕委員長の感銘深いスピーチに感謝のスマイルをいたします。

越智茂昭君 安藝栄祥様、ありがとうございました。

安藝栄祥君 つたない卓話をお聞きいただきありがとうございます。

本間喜美子君 お話いただいたことをヒントに職業奉仕をもう一度しっかり考えたいと思います。